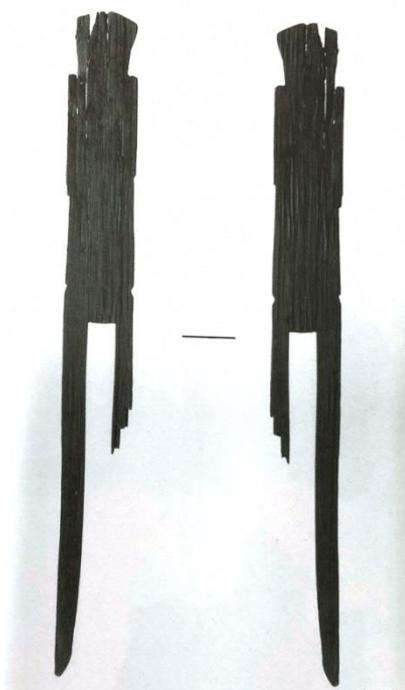


舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）だより

令和5年3月

☆サロンスペース ひな人形展示！

3月は恒例のひな人形を展示します。写真のひな人形は御殿雛といわれ、江戸時代末期のもので。そのほか、明治時代や昭和時代のおひなさまも同時に展示します。



☆今月の一品は「浦入遺跡出土の人形(ひとがた)」です。人形はおひな様の原形とも言われています。浦入遺跡は現在火力発電所のある浦入湾沿岸の遺跡で縄文丸木舟などが出土しています。人形の出土した地点は浦入湾の最も奥まった地点で奈良時代から平安時代の製塩炉跡や鍛冶炉跡が多数出土した地点の浜辺です。展示の人形は55.5cmもあり頭部や肩、腰、足などの造形がわかります。古代の人々はこのような人形にケガレを移して流すという風習があったといわれており、これがおひな様の原形だという説もあります。

☆3月の展示解説は「笠百私印」

今では「加佐」というと由良川地域をさしますが、古代から舞鶴全体を「加佐」と呼んできました。「笠百私印」は浦入遺跡から出土した平安時代(850年頃)の製塩土器(海水から塩を作るための土器を上のにせた支脚)に刻まれた印影です。古代から実力者笠氏がいたことを証明するこの印について解説します。

日時 3月19日(日)13:30~14:30

場所 舞鶴ふるさと発見館展示室(展示室入場に入館料100円必要です。)

